

Living the

LOTUS

Buddhism in Everyday Life

6
2017

VOL. 141



開祖隨感

苦しい時が正念場

夫婦仲がこじれた上に、子どもが急に乱暴になって「これが自分の子か」と恐ろしくなるような言葉を親に投げつけてくる。「もう、どうしたらいいのかわからなくて……」と訴える方がいました。しかし、そうして追い詰められ「自分の力では、もうどうにもならない」とせっぱ詰まって初めて、人の言葉を本気で聞く気になってくるのですね。

仏さまは「一切衆生はわが子。私が必ずみんなを救護してあげます」とお約束くださっています。それなのに、どうしてこんなつらい目に遭わされるんだろう、と

恨みたくなることも人生にはしばしばあります。次から次へ不幸が重なって、「神も仏もあるものか」と捨てばちになりかけるときもあります。しかし、仏さまは決して私たちをお見捨てになることはありません。

苦しみを与えられるのも仏さまのお見守りで、いまこそ自分をしっかりと見つめて、自分を変えなくてはならない時だ、と教えてくださっているのです。崖っぷちに追い詰められた時こそ、正念場です。また、その時こそまわりの人が声をかけてあげなくてはならない大切な時なのです。 (『開祖隨感』9, P. 62-63)

Living the Lotus 2017年6月号 (Vol.141)

【発行】立正佼成会 国際伝道部
〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F
Tel: 03-5341-1124
Fax: 03-5341-1224
E-mail: living.the.lotus.rk-international
@kosei-kai.or.jp
編集責任者: 水谷庄宏
編集チーフ: 金尾江利子
校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之
編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。



愚痴をいわない

立正佼成会 会長 庭野日鏡

「知っている」という思いこみ

不都合なことに遭^あうと、私たちは不平不満を口にしがちです。俗にいう「愚痴をこぼす」わけですが、この「愚痴」という熟語の二文字は、どちらも「おろか」を意味します。

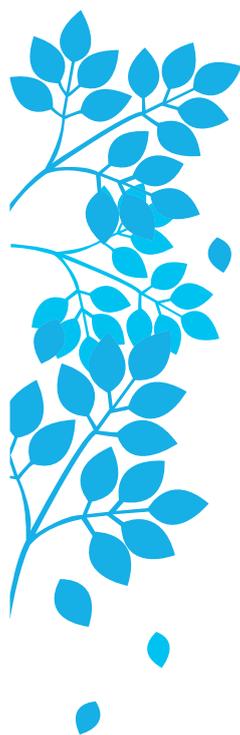
ただ、同じ「おろか」でも、「痴」のほうは〈サ〉(やまいだれ)のなかに「知る」という字の入った意味深長な文字で、いわば知が病気になることによる「おろかさ」を示しています。つまり、自分の知っていることがすべてと思^いこみ、全体がよくわかっていないことからくる「おろかさ」ということです。ちなみに「愚」は、猿に似たナマケモノ類をあらわす象形文字^{しやうけいもじ}の下に〈心〉がついた文字のようです。まわりくどく、心のはたらきの鈍い「おろかさ」を示しているともいえるでしょうか。

また、愚痴には「いっても仕方がないことをいって嘆くこと」という意味があります。確かに私たちは、いってもムダと知りつつも不平不満をいい、ときには思いどおりにならないことを人のせいにしてまで愚痴をこぼすのです。

私たちがなぜ、そこからなかなか抜けだせないのかといえ、自分の知っていること、思っていること、考えていることが「絶対に間違いない」という錯覚にとらわれているからです。まさに、「私は知っている」という病気にかかっているのです。

道理がわかれば

「私が正しい」「私は知っている」という気持ちが愚痴の原因の一つだとすれば、その心を省^{かえり}みることにより、不満や文句が少なくなりそうです。そして、反省することに



よってものごとに対する洞察が深まると、不平や不満の対象としか思えなかったことが、「仏の説法」と受けとれるのではないのでしょうか。

日ごろから仏の教えに親しんでいると、愚痴をこぼしそうなときでも智慧の心がそれしずを鎮めてくれる、と経文にあります。「愚痴多き者には智慧の心を起さしめ」という一節ですが、愚痴の対象が「自分に大切なことを教える仏の説法だった」と思えたとき、そこには智慧の心がはたらいているといえそうです。

そういう心のはたらきを、よりしっかりと自分のものにする方法があります。それは、この世のあらゆるものごとに通ずる真理、つまり「真実の道理」を知ることです。この世のあらゆるものが、一つにつながるご縁によって生かされているという事実。その恩恵を受けて、いま自分がここに存在するという有り難さ。このことが明らかになり、感謝できると、愚痴は出てこないのではないのでしょうか。ひとことでいえば、天地自然の道理がわかれば愚痴はいえなくなるということです。

経文には「若し愚痴多からんに、常に念じて観世音菩薩を恭敬せば、便ち痴を離ることを得ん」ともあります。観音さまを念じ、敬う心をもちつづけると、愚痴を離れることができるというのです。

仮に、ついつい愚痴が出そうになったときでも、観音さまのような慈悲の心・人に対する思いやりの心が、自分勝手な言葉や行動を押しとどめてくれるでしょう。そもそも、「観世音菩薩を念じる」というのは、自分もそうありたいと願う心のあらわれですから、自分のことよりも他人の幸せを喜べる人は、愚痴や不平から縁遠いはずなのです。

それでも愚痴をこぼしそうになったら、「智慧がはたらくチャンスだ」と気持ちを明るく切り替え、あるいは日々の読経供養をとおして心を見つめなおして、真理にそったもの見方・受けとめ方に立ちもどればいいのです。

(『佼成』2017年6月号)



日本で学び確信した、私の生きる道

バングラデシュ教会
モンキャワイ・マルマ

この体験説法は、2017年3月1日、東京の大聖堂での布薩の日ご命日式典にて行われたものです。

皆さまお願いいたします。

私は1990年10月15日、自然に恵まれ美しい緑にあふれたバングラデシュのバンドラバンという町で、5人兄弟の末っ子として生まれました。父は公務員で、私は両親と兄や姉たちの愛情に恵まれて育ちました。家族7人の暮らしはとても幸せでした。

ところが私が5歳の時、母が病気で入院しました。薬による治療を受け1週間ほどで退院できましたが、数か月後に突然病気が再発したのです。母の病気の再発に家族全員が驚き悲しみました。病院でいろいろな検査を受けましたが、病名は分かりませんでした。その後も病気は良くなりならず、3年後、私が8歳のときに母は亡くなりました。

私は母の死を受け止めることができず、泣いてばかりいました。母が亡くなったあと、家の中はとても暗くなりました。母は生前、いつも私たちの好きな食べものを作ってくれたり、お祭りの時には好みの洋服を買ってくれたりしました。何よりも私たちのことを大切にしてくれる母でした。末っ子の私は、母がどこかに行くときはいつも一緒でした。買い物にも手をつないで一緒に

出かけました。私にはその一つ一つが母との大切な思い出です。

母の死から2年後、悲しみがまだ癒えていないとき、父は私たち兄弟を残して家を出て行ってしまいました。私はそんな父を恨みました。一番そばにいて欲しかったときに家を出て行ってしまった父のことが信じられず、私にとってそれが一番辛い時期でした。

突然両親を失い、私たち兄弟は途方に暮れました。私たちはまだ学生でしたので、誰も仕事に就くことができず、どうやって生活していくか皆で相談しました。近くに親戚はいましたが、誰も助けてはくれませんでした。私たち兄弟は学校に通いながら、家庭教師などをして助け合いました。兄や姉たちはずっと私のそばにいて励ましてくれました。

両親がいなくなったことで悪い人間になったと近所の人たちから思われなかったために、道を外れたことは決してしないと心に誓いました。人さまと心を合わせ、楽しく暮らしていくことが私の理想でしたが、私の近くには正しい生き方を教えてくれる人はいませんでした。

私が佼成会とのご縁をいただいたのは、いどこから遠い親戚と紹介された人との出会いがきっかけでした。その遠戚にあたる人と友だちになり、はじめて佼成会のことを知りました。佼成会は日本の在家仏教団体と聞き、どんなことを教えているのか知りたくなり、2010年にその友だちに導かれて入会しました。その友だちに案内され、私はバスで2時間半の距離にあるチッタゴンの教会に行きました。

はじめて教会を訪れた私を信者さんたちが暖かく迎えてくださり、私はとても感激しました。自分も迎えて



大聖堂で説法するマルマ氏

くださった信者さんたちのように佼成会の教えを学んで優しくなりたいと思いました。

教会では、カンチャン・バルア教務部長さんとの出会いにも恵まれました。教務部長さんはとても心の暖かい人で、いつも家族の一員のように私のことを大切にしてくださいます。

私は教務部長さんから『まず人さま』というタイトルの本を頂戴しました。その本には「『自分のことは自分が一番良く知っている』と書いていても、実際にはあまり自分のことを知らない人が多いものです。自分のことを知りたければ心田を耕す実践をしましょう」と書かれていました。私にはその意味がよくわからなかったため、教務部長さんに教えていただきました。教務部長さんから「今まで健康で生きてこられたことに対して、仏さまやご先祖さまやご両親、まわりの人々に感謝していますか」と聞かれ、私は正直に「していません」と答えました。すると教務部長さんは「ご両親があなたを育ててくださったことへの感謝、ご両親がいなくなったあと、お兄さんやお姉さんがあなたを応援してくださったことへの感謝、そしてご先祖さまやまわりの人々への感謝を忘れず、毎日その感謝の心を表していけば、あなたの人生はどんどん幸せになっていきますよ」と話してくださいました。そのお話を聞いて、自分のすぐそばに正しい生き方を教えてくださる人がいることを知りました。

私はこの教えをもっと深く学びたいと思い、教務部長さんにご相談しました。すると教務部長さんは、佼成会の本部には学林という仏教を学ぶ場所があり、そこには外国人を対象とする海外修養科があることを教えてくださいました。教会長さんも学林に行くことを勧めてください、入林のお手配をいただきました。佼成会とのご縁がなかったら、このような素晴らしい教えや人々との出会いをいただくことはなかったでしょう。佼成会に導いてくださった友だちに心から感謝しています。

兄や姉たちも私が日本に行くことに誰も反対せず、費用もすべて出してくれました。そして「自分で選んだ道なんだから応援するよ」と言ってくれたのです。兄や姉たちの励ましのおかげさまで、踏み出した道を最後まで歩き通す自信も生まれ、本当にうれしく思いました。

日本へ来る前は、知らない人たちのなかで生活することは不安でした。最初は文化も違い言葉も全くわからなかったため辛いこともありましたが、学林での生活を通して、寮の仲間たちと時間を大切にすることを学びました。いろいろな国の人たちと一緒に生活するのは私にとって初めての体験でした。寮の仲間たちは、私がお役のときや病気になったときには、ずっとそばにいて助けてくれるとても素晴らしい人たちです。

1年生の頃は日本語がよくわからずに、日本語学校の先生からよく注意されました。そして同級生たちが日本語を上手に話している姿を見て落ち込みました。そんなとき、海外修養科の先輩たちは私の気持ちをわかってくださり「私たちが1年生の頃はモンキョワイみたいに日本語がわからなくて辛かったよ。でも、一生懸命に頑張れば大丈夫」と言って応援してくださいました。

2年生になり東京の北教会で布教実習をさせていただきましたが、そのとき人生が変わるような素晴らしい体験をさせていただきました。支部長さんと手どりに行かせていただく中で、目が見えず耳もほとんど聞こえないAさんとの出会いがありました。その出会いを通して、私は心の中に光が射し込んだような経験をしました。

Aさんには子供がおらず、ご主人を亡くされてからは一人で生活されていました。Aさんのことを考えたとき、私は自分の家族の状況とあまり変わらないように感じました。しかし、Aさんは高齢のうえ体調も良くないはずなのに、とても幸せそうで、心の暖かい人でした。

Spiritual Journey

ある日、Aさんは私の頬に手を触れて「この子はかっこいいね」と言ってくれました。そのとき、Aさんが私を心の眼で見てくださっていると感じ、とてもうれしく思いました。Aさんの姿を見て、自分はまだ若くて健康なのに、心の奥にある両親を失った悲しみを乗り越えられないことに気づきました。そして、その悲しみを乗り越えられないのは、すべてのものごとは仏さまのおはからいであることに気づけなかったためだとわかったのです。

Aさんの暖かい心に接して、仏さまは乗り越えられない試練はお与えにならないことを学びました。そして自分が幼い頃に両親を失ったのは、仏さまの教えを学んで多くの人々を救うお役があったためだと気づくことができたのです。

Aさんの姿を通して、私は自分が明るくなれば、まわりも明るくなることに気づきました。Aさんとの出会いを通して、ものごとを前向きにとらえる力をいただきました。まわりの人々が私の姿を見て明るい気持ちになっていただけるように、そして暖かい心の光で人さまの心を照らすことができるように、これからも明るく前向きに生きていきたいと思えます。

佼成会のいのちである「法座」の大切さを理解できるように、大法座への参加を通して、私は仏さまからお智慧をいただくことができました。

大法座にはBさんという会員さんがいらっしゃいました。Bさんはご主人の祥月命日に教会でお戒名を読みあげていただく予定でしたが、手違いでお戒名は読み上げられませんでした。Bさんは、手違いがあったことで、かえって教会長さんや支部長さんや教会の皆さんにご主人の祥月命日を覚えていただけたと感謝をされていました。

私はBさんの受け止め方に心を動かされました。私だったらBさんのような受け止め方はできなかったでしょう。法座の中で皆さんがお互いの話を聞くだけでは

なく、お互いに共感し学び合うことが、悩みや苦しみから救われる道だと感じました。

仏さまや開祖さまの願いに添った生き方をすることで、自分もまわりの人も共に救われ幸せな人生を送ることができることを私は確信しました。現在の私は、両親のおかげさまで、こうした素晴らしい出会いや、開祖さま、会長先生の教えを学ぶ機会をいただけたのだと思えるようになりました。日本に来て一番有り難かったのは、自分の心を変えることができたことです。

日本に来て学ばせていただいた数々のことの中から、私は自分が生まれ育った町であるバンドラバンに、「すべては自分」という考え方を伝えたいと思っています。自分の行為の結果はすべて自分に返ってくる、ということです。自分が望む結果が得られないとき、その原因を自分ではなく、友だちやまわりの人々のせいにしてはいる限り、悩みや苦しみは乗り越えられません。自分の身に起きることは、すべて自分に責任があると捉えられる自分になると、現実が変わります。

故郷の町の皆さんが仏さまの教えをいただいて、サンガの仲間として共に修行できるように、たくさんお導きをして法座所を作れるよう頑張ります。

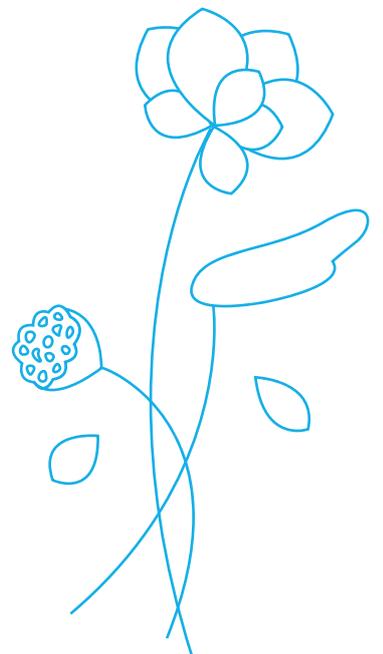
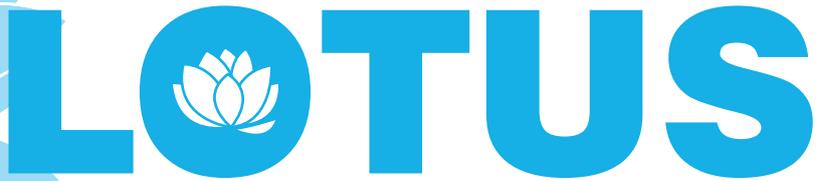
皆さま、ご清聴ありがとうございました

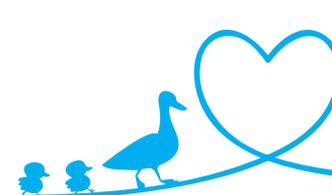


学林海外修養科の同期生と(左)

Living the

LOTUS





Childcare lifeline

息子のウソつきを直したいのですが・・・



小学4年生の息子のウソに悩んでいます。先日も「ゲーム攻略本を友だちにもらった」と言うのですが、その友だちのお母さんから、「本を貸したけれど返してくれないので困っている」と電話がありました。コップを割っても4歳の妹のせいにして、すぐ分かるウソを言います。そのたびに「ウソはいけない」と話しますが、また繰り返します。このままだと「ウソつき人間」になりそうで心配です。



「正直な子にしたい」というお母さんの願いが伝わってきます。子どもが一度ウソを言うと、次からは親は「またか」と疑いの目で見てしまいがちです。お母さんが「またウソでしょ?」と言うのも、「正直な子に育てたい」という親の思いからなのですが、その気持ちは子どもには伝わりません。むしろ、「お母さんに信じてもらっていない」と、寂しさを感じてしまうと思います。

もし、すぐに分かるウソを言っても、「いまウソ言ったでしょ?ウソはいけないと言っているでしょ!」と怒らないことです。「ウソだな」と感じたら、「どうしたの?」とたずねて、子どもの心をじっくり聞いてあげてください。ウソを言うには、それなりの理由があるものです。

4歳の妹のせいにするということですが、お母さんが「お兄ちゃんはウソをつく困った子」「妹はまだ小さくてかわいい子」という目で見えてはいませんか?子どもは、そういう親の心のありようを敏感に感じとるものです。

そんな淋しさから「お母さん、こっち向いて…」と、親の愛情ほしさにウソをつくこともあるのです。

息子さんが「本を友だちにもらった」と言った場合でも、「なぜ『もらった』なんてウソを言うのよ!」と叱らずに、「あなたは『もらった』と思ったのかもしれないけれど、お友だちは貸したつもりだったみたいよ。あなたの勘違いじゃない

の?」と、さらりと言えればいいのです。そして、友だちに「勘違いしてごめんね」と謝りながら品物を返しに行かせてはどうでしょうか?

「怒らないから正直に言ってごらん」と親は言いますが、子どもが正直に話すと、「ほら、やっぱり…」と言って、怒る親が多いのです。

でも、「怒らないから…」と言ったのですから、怒ってはいけませんね。正直に言ったことを“ほめて、認めてあげる”と、親の姿から子どもは学んでいくのです。

ウソをついたことを叱られずに許された経験を持つと、素直になって本当のことを言えるようになるはずですよ。

小学生期は善悪・良否を学ぶときです。親の接し方ひとつでどうにでもなる時です。正直におおらかな気持ちで子どもと向き合ってください。

Point 生まれつきウソつきな子どもはいない

ウソは自分を守るため、逃げ場をつくるため、追いつめられて言うてしまうものです。これまで子どもとふれ合うなかで、問いつめるような関わりがなかったか、振り返ってみてください。ウソをつくには、それなりの理由があるのです。

(回答:東京家庭教育研究所)

協力: 東京家庭教育研究所

〒166-0012 東京都杉並区和田1-5-12

電話 03(3381)0705

FAX 03(3381)0723

<http://www.kateikyoiku.jp/>

東京家庭教育研究所は、「親が変われば子どもが変わる」という教育原理に基づいて、各地で講演会・講座を開催、また子育ての相談に答えています。多くの方が、「子どもに学ぶ家庭教育」を学び、たくさんの幸せな家庭が誕生しています。

信じきるあたたかさ

息子さんによい子になってほしいと一生懸命向き合っている素晴らしいお母さんですね。自分を見守ってくれる人のあたたかい思いにふれた時に、人は本来の自分の力を発揮するものではないでしょうか。

江戸時代を代表する禅僧、良寛さんが甥の放蕩息子馬之助に意見をしてほしいと頼まれ、実家に出向いた時のお話があります。良寛さんは滞在中、説教ひとつせず、帰る日を迎えます。玄関に出た良寛さんは、「馬之助や。一つ、ひもを結んでくれないか」と頼みます。馬之助は説教もされず、やれやれ助かったと思い、良寛さんのわらじのひもを結びます。するとその時、良寛さんの涙が馬之助の手の甲に落ちてきました。見上げると、良寛さんの目には涙があふれています。馬之助の放蕩は、良寛さんの涙にふれたこの日を境に、すっかり収まります。良寛さんの涙は、馬之助を丸ごと抱きとめたのです。

お母さん、たとえ息子さんがウソを言っているとわかって、本気で信じきってみてはどうでしょうか。お母さんに信じてもらっているという安心感が、息子さんの良心を動かし、お母さんのあたたかい思いに恥じない自分になろうと歩み出せるのではないのでしょうか。

(立正佼成会習学部監修)



Please give us your comments!

皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

Eメール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp



Director's Column

今年のお会式・一乗まつりが楽しみです

4月の台湾出張中、東京の国際伝道部オフィスから電話がありました。「部長さん、今年のお会式・一乗まつりの本部班隊長のお役をいただかれましたよ。」

お会式・一乗まつりは立正佼成会の大変な行事です。法華経の広宣流布に身を捧げられた日蓮聖人のご遺徳を偲ぶとともに、本会を創立し、世界平和のために生涯を貫かれた開祖さまを追慕・讃歎して、毎年、万灯行進が本部周辺で行われます。

電話を受けた時は、正直なところ「有り難い」とは思えませんでした。しかし、すぐに新たな思いが心に芽生えました。

「いま有り難いと思えないお役だからこそ、そのお役を通して何か新たなもの、大切なものが見えてくるのではないか。」「させていただく限りは最高の万灯行進にしてみよう。」すると、心が次第にわき立ってくるのを覚えました。

すぐに本部の担当部長さんにお礼の電話をさせていただきました。電話を切ったすぐあと、再び国際伝道部オフィスから電話がありました。「部長さん、今年の7月、光祥さまがウランバートル支部にお立ち寄りくださるそうです!」

なんと有り難いことでしょう。よろこびの心に新たなよろこびの知らせが入りました。

国際伝道部長
水谷庄宏



Rissho Kosei-kai Overseas Dharma Centers

2017

Rissho Kosei-kai International

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street Suite #1 Los Angeles
CA 90033 U.S.A

Tel: 1-323-262-4430 Fax: 1-323-262-4437
e-mail: info@rkina.org http://www.rkina.org

Branch under RKINA

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, U.S.A.

Tel: 1-253-945-0024 Fax: 1-253-945-0261

e-mail: rkseattlewashington@gmail.com

http://buddhistlearningcenter.org/

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.

Tel: 1-210-561-7991 Fax: 1-210-696-7745

e-mail: dharmasanantonio@gmail.com

http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.

Tel: (727) 560-2927

e-mail: rktampabay@yahoo.com

http://www.buddhismtampabay.org/

Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.

Tel: 1-808-455-3212 Fax: 1-808-455-4633

e-mail: info@rkhawaii.org http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.

Tel: 1-808-242-6175 Fax: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, U.S.A.

Tel: 1-808-325-0015 Fax: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.

Tel: 1-323-269-4741 Fax: 1-323-269-4567

e-mail: rk-la@sbcglobal.net http://www.rkina.org/losangeles.html

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.

Tel: 1-650-359-6951 Fax: 1-650-359-6437

e-mail: info@rksf.org http://www.rksf.org

Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, U.S.A.

Tel: 1-212-867-5677 Fax: 1-212-697-6499

e-mail: rkny39@gmail.com http://rk-ny.org/

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, U.S.A.

Tel: 1-773-842-5654

e-mail: murakami4838@aol.com

http://home.earthlink.net/~rkchi/

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

http://www.rkftmyersbuddhism.org/

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112, U.S.A.

Tel & Fax: 1-405-943-5030

e-mail: rkokdc@gmail.com http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Klamath Falls

1660 Portland St. Klamath Falls, OR 97601, U.S.A.

Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204, U.S.A.

Tel: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419, U.S.A.

http://www.rkina-dayton.com/

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,

CEP 04116-060, Brasil

Tel: 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377

Fax: 55-11-5549-4304

e-mail: risho@terra.com.br http://www.rkk.org.br

Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,

CEP 08730-000, Brasil

Tel: 55-11-5549-4446/55-11-5573-8377

Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Zhongzheng District, Taipei City 100, Taiwan

Tel: 886-2-2381-1632 Fax: 886-2-2331-3433

http://kosei-kai.blogspot.com/

Rissho Kosei-kai of Taichung

No. 19, Lane 260, Dongying 15th St., East Dist.,

Taichung City 401, Taiwan

Tel: 886-4-2215-4832/886-4-2215-4937 Fax: 886-4-2215-0647

Rissho Kosei-kai of Tainan

No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan

Tel: 886-6-289-1478 Fax: 886-6-289-1488

Rissho Kosei-kai of Pingtung

Korean Rissho Kosei-kai

6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea

Tel: 82-2-796-5571 Fax: 82-2-796-1696

e-mail: krkk1125@hotmail.com

Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea

Tel: 82-51-643-5571 Fax: 82-51-643-5572

Branches under the Headquarters

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,

North Point, Hong Kong, Republic of China

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
Tel: 976-70006960
e-mail: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Sakhalin

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk
693005, Russian Federation
Tel & Fax: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia
Tel & Fax : 39-06-48913949
e-mail: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK**Rissho Kosei-kai of Venezia**

Castello-2229 30122-Venezia Ve Italy

Rissho Kosei-kai of Paris

86 AV Jean Jaures 93500 Tentin Paris, France

International Buddhist Congregation (IBC)

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Sugunami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1230 Fax: 81-3-5341-1224
e-mail: ibcrk@kosei-kai.or.jp <http://www.ibt-rk.org/>

Rissho Kosei-kai of South Asia Division

3F Fumon Media Center, 2-7-1 Wada, Sugunami-ku, Tokyo, Japan
Tel: 81-3-5341-1124 Fax: 81-3-5341-1224

Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218
e-mail: thairissho@csloxinfo.com

Branches under the South Asia Division**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**

224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,
110060, India

Rissho Kosei-kai of West Delhi

66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka
New Delhi 110075, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar,
Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsilhel, Sancepa-1, Lalitpur,
Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Singapore**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,
Phnom Penh, Cambodia

Thai Rissho Friendship Foundation

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang
Bangkok 10310, Thailand
Tel: 66-2-716-8141 Fax: 66-2-716-8218
e-mail: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei-kai of Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
Tel & Fax: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai of Dhaka

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh
Tel: 880-2-8413855

Rissho Kosei-kai of Mayani

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station: Mirshari,
District: Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Patiya

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Domdama

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Satbaria

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Laksham

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Raozan

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Chendirpuni

Chendirpuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai of Ramu**Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
Tel: 94-11-2982406 Fax: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**Rissho Kosei-kai of Habarana**

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

Other Groups**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**